

# 令和4年度

## 新・放課後子ども総合プラン指導者研修会（紀北会場）まとめ

日時：令和4年7月3日（日） 13:00から16:00

参加者：77名

場所：和歌山市北コミュニティセンター 多目的ホール（会場 46名 オンライン 31名）

### 1 行政説明

- ①和歌山県教育庁生涯学習局生涯学習課地域教育班 社会教育主事 岩倉 明德
  - ・新・放課後子ども総合プランについて
  - ・放課後等子ども教室推進事業、子どもの居場所づくり事業の実施状況について
- ②和歌山県福祉保健部福祉保健政策局子ども未来課保育班 副主査 津村 苑花
  - ・新型コロナウイルス感染症の予防のために注意すべきこと
  - ・放課後児童クラブ運営指針解説書の改定について
  - ・里親制度の紹介（里親新絵センター「なでしこ」より）

### 2 講演

「子どもが笑顔で居られる居場所づくりを目指して ～状況に応じた子どもに伝わる声のかけ方～」  
名城大学 教職センター 教授 曾山 和彦 氏



保護者や地域の教育力が下がっていると言われる中で、**放課後児童クラブ**や**放課後子供教室**等、指導員の皆さんが**子供を育てる最後の砦**です

#### ○ソーシャルスキルとは

- ・ソーシャルスキルは、よりより人付き合いの「型」、型が身につけば、その子の個性として見える
- ・ソーシャルスキルがなければ「野生の王国」

#### ○ソーシャルスキルを育もう

- ・「You メッセージ」から「I メッセージ」へ
- ・「あなた○○しなさい。」ではなく「私、悲しい。」「私、うれしい、助かる」

#### ○自尊感情を育もう

- ・自分を大切にできれば、他者を大切にできる
- ・子どもの「長所」や「好き・得意なこと」等を使い、褒めて、勇気づけて、認めてあげることが大切

#### ○「ありがとう」は

- 最強・最高・最「幸」な言葉
- 子供が宿題している途中で「まだできないの？」は**禁句**  
代わりに、「ここまでできて、偉いね」

#### ○地域で子どもを育てる試み（映像）

- ・「怒る（＝自分のため）」ではなく、「叱る（＝相手のため）」へ
- ・「なぜ子どもに伝わるのか」  
厳しいだけでなく一緒に遊ぶから



### ○コロナ禍のペアワーク (ドライビング・トーク)

- ・向き合わずに同じ方向を向いて、大きな声を出さず隣同士で行う
- ・向き合いたいのを我慢する

#### <話し合ったテーマ>

- ・自己紹介
- ・地域の子供に注意できますか？
- ・ワイワイガヤガヤ質問タイム
- ・映像の感想
- ・夜中に爪を切りますか？口笛を吹きますか？
- ・挨拶をすることを決まり事として伝えている中で、挨拶をしない子供への対応
- ・挨拶できている子供への対応

### ○体験！週1回10分の「○○タイム」 「アドジャン」(大人版)

- ・遊びの中でソーシャルスキルを学ぶ
- ・聞く方は否定しないで、復唱や首を縦に振る



### ○私たち大人にできること

- ・子供たちに、良いことや悪いことなどを、**伝わるまで何度も言い続ける**
- ・褒めるだけでは、慰めに感じてしまうこともある。状況に応じて言葉を選ぶ
- ・悪い言葉は使わない。**優しい言葉を使って話す**

## 3 情報交換

参加者が3人から5人に分かれて、①自己紹介、②講演で印象に残っていること、③こんなことやってみようと思ったことを話し合いました。また、日頃の活動で悩んでいることや成功例などを話し、地域・事業の垣根を越えて交流いただきました。



## 4 アンケート (抜粋)

### ①講演会について

- ・教育的要素が強く感じたが学童保育と近いと感じるものもあった。
- ・具体的言葉、実践例がたくさんでできたので、明日から使えます。
- ・子どもに対する接し方など、ためになりました。
- ・今後実践できそう。
- ・色々聞く中でもみながこれからは活かせるかなと思った。
- ・子どもとの接し方を具体的に教えていただいたことがとても参考になりました。
- ・子供への接し方等を学べた。
- ・具体的で分かりやすい例が多く、歴の短い自分にも理解しやすかったです。
- ・曾山先生のご講演が、大変ためになりました。心に刻もうと思いました。ありがとうございました。
- ・褒め方が発達に応じてあるということ。今の風潮は個性重視で型にはめてもいいのか？と思っていたけれど個性も型に表れると知って安心した。
- ・最近とても教育現場に行くことが多く、子供の接し方に不安を感じていました。本日は現場の生の声を聴くことができ大変参考になりました。
- ・自尊感情とソーシャルスキルの言葉はよく聞く言葉でどのように育むか難しいと思っていました。どちらも人と人の関わりでしか育っていかないと教えてもらい良かったです。
- ・とても分かりやすく心に残りました。
- ・「ありがとう」は最強・最高・最「幸」な言葉と知り、とても大事な言葉だと思いました。
- ・子どもへの接し方という点で、誰が主体で判断すれば良いかという新たな視点をいただいた。また、講

演内容がわかりやすく、話がすっと心に落ちた。

- ・ ありがたい言葉の大切さ、認める、褒めることの大切さを改めて感じました。
- ・ 子供とのかかわりを増やす。アイメッセージを提示する。挨拶、ありがとうは大事。
- ・ 講演の中で「叱る」は相手の為である事や「ありがとう」は最強の言葉だと言う意味が理解できました。児童との接し方についてとても勉強させて頂けたからです。
- ・ ソーシャルスキルを育むワザではiメッセージが相手に響き、効果があるということ。今まではyouメッセージが多かったので今後はiメッセージを活用していきたいと思いました。
- ・ 先生の「私たちが子どもたちを変えないと！」という強い思いに触れ、自分は自分の場所で自分の出来ることをやっていこうと思いました。
- ・ 受講した内容と自分の経験や知識をすり合わせ、もっと自信を持って子どもたちと接していく指針となるからです。

## ②情報交換について

- ・ 話しやすく情報交換もしやすかったのでよかったです。市の職員の方々がしている事業内容がよく知らないでイメージつきにくかったですがみんなでいかせられるような感じだったのでよかったです。
- ・ 現場の方の意見を聞いたことが参考になりました。
- ・ みんな、同じような意見を持っていて、教育に関わる方々の共通の悩みを再確認できた。
- ・ いろいろな立場の皆さんとお話ができて勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 情報交換というよりはどう感じたかのシェアがあったのでよかったです。オンラインだったので1人で聞いていてもみんなはどう感じてるか知りたかったので^^
- ・ 参加されていた皆様が教育現場に精通されている方々だったので、日ごろの悩みに対してアドバイスして頂き、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。
- ・ 他の携わっている方々とお話する機会があって、皆さんの抱えている事が聞けてとても勉強になりました。
- ・ ありがとう・うれしい・助かったと言った言葉を大切にしながら、褒め言葉も使いたかったです。1人1人の子どもたちにとって発達段階も違うので、色々声かけしながら子どもたちと信頼できるように頑張りたいです。子どもは大人から愛されれば愛されるほど非行から遠ざかると聞き、とても感銘を受けました。
- ・ 参加したグループは、放課後児童クラブの方々と同じグループだったが、現場での思いや悩みはどの人も同じようなことで悩んでいるのだなと感じた。
- ・ 同じ学童保育でも特色も違ったり、保育についても勉強になりました。
- ・ 他の学童の様子を知る事が出来た。学童の先生以外の人と話をし、違うアプローチを聞くことが出来た。
- ・ 情報交換の内容は、あまり今後の参考になる内容ではなかったからです。
- ・ それぞれの施設の規模や子どもの特性などの違いはありましたが、実践されていることや同じような悩みが聞け勉強になりました。
- ・ 私用により途中退出したので、情報交換には参加しませんでした。
- ・ 他地域の現状が経験者から聞け、お互いの疑問や感想が話し合えたからです。

## ③その他、お気付きの点や今後実施してほしい研修等について

- ・ 大変有意義な研修をしていただいたと感謝しております。大変勉強になりました。
- ・ 大変参考になった。先生がわかりやすく説明してくださったので、楽しく聞いて本当に良かった。言うこと聞かない子どもを叱るのか？どうやらせて行くのかの参考になった。
- ・ 本日の研修のようなドライブトーク形式とても話しやすかったです。コロナ禍もあり開催に携わる方も大変と思いますが、ありがとうございました。
- ・ 子どもの扱い方、接し方といった点で、学校とどうやって共有する機会を作っているかなどの実践発表

があれば教えていただきたいと感じた。

- ・講師のお話がわかり易く、違うテーマの話も聞いてみたいと思った。
- ・ルールを守れない児童に対する対応に日々悩んでいる為、その様な事について詳しく講演してほしいと思います
- ・今回、声掛けについて色々例をあげて頂き、とても参考になりました
- ・また機会があれば、配慮の必要な子への声掛け例などももう少し詳しく研修で教えていただければと思います。